

【 記 者 発 表 資 料 】

2005 年福岡県西方沖地震による被害調査結果(速報)

2005 年福岡県西方沖地震による被害状況について，土木学会(団長：大塚久哲)・地盤工学会(団長：善 功企) 地震被害合同調査団が 2005 年 3 月 26 日に実施した調査結果の概要は，以下の通りです．

記

1. 市街地における被害集中地域と警固断層との関連について(図-1,2，表-1,2)
 - ・警固断層の西側と東側で地層構造が大きく異なっている．西側が非常に堅くて，東側が軟質地盤となっており，不整形地盤のところに被害が集中している．
2. 玄界島における急傾斜地の擁壁について(表-3)
 - ・玄界島の擁壁は 5 種類に分類され，擁壁の種類によって被害が異なっている．
 - ・南北方向に変状が卓越している．
3. 玄界小中学校の地盤被害について(図-3,4)

玄界小学校と玄界中学校の被害メカニズムは異なっている．玄界小学校の被害は，地震時土圧によるものと推定されるが，玄界中学校は，地すべり性崩壊の可能性があるので，詳細な調査が望まれる．
4. 自然地盤・埋立地における液状化調査と港湾施設の被害調査について(図-5)
 - ・液状化の分布は，ほとんど埋立地に集中しており，その程度はそれほど激しくはない．今後は，液状化発生と埋め立て後の年数や埋め立て材の種類等の関連について調べる必要がある．
 - ・港湾施設については，須崎埠頭や中央埠頭の一部などにおいて，大規模な被災を受けている．その他の埠頭については，被害は受けているが利用が稠密なことから供用しながらの復旧も求められる．また，構造形式による被害の相違が認められた．今後は，岸壁の建設年代，地盤特性，地震動特性，設計震度などによる被害の相違等を調査することが必要である．

以上

【問い合わせ先】

九州大学大学院 工学研究院 建設デザイン部門

環境設計材料工学講座 教授 日野 伸一 TEL 092-642-3263

地盤学講座 助教授 安福 規之 TEL 092-642-3284